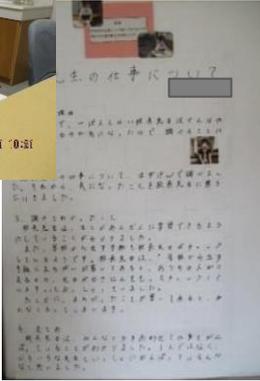


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山東支援学校	実践者名	犬飼 夕稀
実践場面 (教科)	国語		
単元・題材名	仕事のくふう、見つけたよ		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ・段落の役割について理解することができる。 ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 		
対象の児童生徒の 実態	<ul style="list-style-type: none"> ・四肢麻痺があり、車いすで移動や活動を行っている。 ・左上肢の麻痺が強いが、リラックスすると両手を協応させた操作ができることもある。 ・音声言語でのコミュニケーションが可能で、教師と丁寧な言葉を使ったやりとりをすることができる。 ・平仮名を概ね読み書きすることができる。 		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 校長先生の仕事についてネットで調べる <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad (Safari) を使って、校長先生が普段どんな仕事をしているかを調べた。 2. 校長先生にインタビューする <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問したいことを事前にワークシートに書いた。 ・ インタビューする際に、iPadのボイスメモを使って話してもらった内容を録音した。 ・ iPadのカメラを使って校長先生の写真を撮影した。 3. インタビュー内容を書き起こす <ul style="list-style-type: none"> ・ ボイスメモで録音した内容を聞き返しなが、質問の答えを紙に書き上げた。 4. 報告書の下書きをする <ul style="list-style-type: none"> ・ 下書きをGoogleドキュメントで作成した。 5. 報告書を作成する <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が音声で入力した内容を、教員が模造紙に下書きしておき、なぞり書きをした。 	   		
活用のポイント・改善策等			
<p>【活用のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来であればグループで行う活動が望ましいが、同じ教育課程の児童が他にいないため、1人で取り組むことにした。そのため、質問する役、メモを取る役などの役割分担を、iPad（ボイスメモ）を活用することで、本児は質問することに徹することができた。また、入力した文章の中で間違いや伝わりにくい表現になっている部分がないかを、文章の読み上げ機能を活用して、客観的に確認することができた。 ・ 文章を作成する際に、音声入力の機能を活用することで、書字にかかる時間や労力を削減し、思考することに時間や体力を費やすことができた。 			